

第86回 定期演奏会

ワグネル・ソサイエティー・ OBオーケストラ

指揮

井崎正浩

ムソルグスキー(リムスキー=コルサコフ編) / 交響詩「禿山の一夜」

ハチャトゥリアン / バレエ組曲「ガイーヌ」より抜粋

リムスキー=コルサコフ / 交響組曲「シェエラザード」

(ヴァイオリン独奏 鈴木 蘭)

2019年7月13日(土) ミューザ川崎シンフォニーホール

13:30開演(開場13:00)

JR川崎駅西口徒歩3分

全席自由 ¥2,000

チケット扱い、ミューザ川崎シンフォニーホール TEL.044-520-0200

チケットぴあ(Pコード:151-164) TEL.0570-02-9999

お問合せ先 演奏会事務局 TEL.03-3391-9210

WSOホームページ <http://www.wagner-ob.jp>

WSOメールアドレス office@wagner-ob.jp



井崎正浩 指揮 Izaki Masahiro

現在ハンガリーを拠点にヨーロッパ、日本各地で活躍を続ける指揮者。2007年よりハンガリー・ソルノク市の音楽総監督を務め、同市の音楽・文化団体を総括する重責を担い、Newsweek紙や「音楽の友」誌において海外で活躍する日本人として掲載される栄誉を得た。最近ではロシア・ナショナル管、ベルリン響、デュッセルドルフ響等への客演も行い国際的な展開を行っている。1995年第8回ブダペスト国際指揮者コンクールで優勝。コンクール中の演奏を国立オペレッタ劇場総裁に認められ、同年同劇場でレハール作曲《メリー・ウイドウ》を指揮しセンセーショナルなデビューを飾る。これまでハンガリーの主要オーケストラ及び国立歌劇場に次々と客演してその名を確立し、ソルノク市からは文化功労賞「カポシヴァーリ・ジュラ賞」を、ハンガリー政府より大統領名での「金十字功労勲章」(民間人に与えられる最高栄誉)を授与されている。日本では1996年1月、東京シティ・フィルのニューイヤー・コンサートでのデビューを皮切りに、読売日響、日本フィル、東京フィル、東響、九響、セントラル愛知響等の主要オーケストラに次々と連続客演して定評を得ており、その手腕を高く評価されている。当団との共演は今回が9回目である。

ワグネル・ソサイエティー・OBオーケストラ

“慶應義塾ワグネル・ソサイエティー・オーケストラ”の出身者が中心となって1974年に設立、同年冬に第1回演奏会を開催して以来、毎年1~2回の演奏会を行っている。最近のレパートリーは、ハイドン、ベートーヴェン等の古典から、ブルックナー、マーラー等の後期ロマン派、フランス・アメリカ近現代音楽、 Hindemith、 Kodály等の異色作品まで幅広い。設立当初は長年にわたって慶應義塾ワグネル・ソサイエティー・オーケストラの常任指揮者を務めた東京藝術大学名誉教授、故・中山富士雄氏の薫陶を受けたが、その後は常任指揮者をおかず、演奏会ごとに様々な指揮者の指導のもとに活動をしている。これまで定期演奏会では中山富士雄、團伊玖磨、山本七雄、ロバート・ライカー、朝比奈千足、斎藤純一郎、飯森範親、三原明人、藤崎凡、新田ユリ、飛永信康、新通英洋、鈴木清三、中川賢一、矢崎彦太郎、大塚正昭、川本貢司、田久保裕一、横島勝人、武藤英明、小泉和裕、山田和樹、角田鋼亮、本名徹次、寺岡清高、井崎正浩、松尾葉子、飯守泰次郎、大山平一郎、金洪才、佐伯正則、田部井剛の各氏に指揮をお願いした(初出演年代順)。

定期演奏会の他にも他合唱団体との特別演奏会、(社)日本アマチュアオーケストラ連盟(JAO)の加盟団体として連盟主催行事への有志参加など、意欲的な演奏活動を続けている。



ミュージザ川崎 シンフォニーホール

JR川崎駅西口徒歩3分

※就学前のお子様の客席へのご入場はご遠慮いただいております。